

(別記第5号様式)

令和2年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
圏域	印旛 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	成田リハビリテーション病院
重点活動 項目評価	<p>○圏域内7市2町・関係機関との事業協力強化</p> <p>・健康増進・介護予防の取組支援（研修会、従事者協働促進、相談支援） （評価）</p> <p>新型コロナの影響で、ウェブによる研修会を3回実施した。従来の講演会場形式では無く人的な直接交流は図れなかった反面、移動時間の制約がないため、幅広い職種・施設からの参加があった。演題も脳疾患・感染対策・認知症と幅広く、また高名な講師も招聘できた。質疑応答も活発に行われた。</p> <p>NPO法人から地域の高齢者サポート事業への協働依頼があった。公民館で月1回、15人程度。関係するケアマネ・地域包括などリハ関連職種との関係構築が出来た。</p> <p>今後、印旛圏域を数ブロックに分けて、当院スタッフが担当ブロックを持ち、NPOやリハ関係組織のニーズを確認し協働促進を図りたい。</p> <p>・リハ・パートナー施設の連携・活動充実</p> <p>前年度に主要な病院はほぼ加入したが（大学病院2、一般病院3他）、本年度は、参加を募る機会が減少し加入件数は特記すべきものは無かった。Web等通じ引き続き募集していく。</p> <p>活動は新型コロナの影響で訪問活動を自粛せざるを無く、件数減少。Webや感染対策に配慮した活動方法を検討する。</p> <p>○各市村での（仮称）療法士連絡会の設立 （評価）</p> <p>啓蒙活動は、訪問活動自粛のため低調であった。引き続き医療・介護機関や市村役所に在る療法士のピックアップを行い、実現を図りたい。</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業

① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築

ア 連絡協議会（年1回開催）

日時：令和3年2月26日（金）

内容：令和2年度推進事業について報告（小林院長）

令和3年度事業計画策定について

千葉県地域リハビリテーション広域支援センターの役割について

意見交換

参加：50名（Web）

イ その他の会議

・印旛地区リハ・パートナー会議

日時：令和3年2月4日（木）

内容：新規パートナー施設紹介

リハ・パートナーの役割について（説明：千葉県健康福祉部健康づくり支援課）

地域活動への取組み紹介（千葉リハビリテーションセンター）

意見交換

参加：9施設、県支援センター、県健康づくり支援課

② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

・域内の関連部署を訪問し広域支援センター事業案内

令和2年11月4日（水）

富里市健康福祉部高齢者福祉課

内容：広域支援センター・リハパートナー活動内容の案内、地域のニーズの収集

令和2年12月2日（水）

成田市社会福祉協議会

内容：広域支援センター・リハパートナー活動内容の案内、地域のニーズの収集

令和3年3月12日（金）

印西市福祉部高齢者福祉課生きがい支援係

内容：連絡協議会議事録報告、活動内容の案内、地域のニーズの収集

令和3年3月24日（水）

佐倉市福祉部高齢者支援課・白井市福祉部高齢者福祉課

内容：連絡協議会議事録報告、活動内容の案内、地域のニーズの収集

令和3年3月31日（水）

四街道市福祉サービス部高齢者福祉課・富里市健康福祉部高齢者福祉課

内容：連絡協議会議事録報告、活動内容の案内、地域のニーズの収集

・印西市モデル事業・通所型サービスに関する協力

日時：令和2年11月24日（火）説明会参加

内容：介護予防、日常生活総合事業の一環として、短期集中予防サービスを実施予定。

広域支援センターかつリハビリテーション専門病院として積極的に人員派遣やノウハウ提供し協力していく。

- ・成田市地域包括支援センターからの依頼
《NPO法人あい愛「元気高齢者のサポート事業」》
日時：令和2年10月～毎月第一水曜日（計5回予定だったが緊急事態制限令により4回）
内容：転倒予防指導（評価→計測）
参加者：対象者は成田市30人程度（各回20人程度参加）
派遣：5名

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

- ・相談窓口の設置（電話・メール）

（事例）

- ・機関名：富里市包括支援センター（相談員から）
内容：体操教室参加の高齢者に対する指導ノウハウ相談を受け、「ご自宅においても身体機能が維持できるような自主訓練方法」や「高齢者の集まりにおいて室内で行える体操」などをまとめ、資料配布した。
- ・機関名：富里市健康福祉部高齢者福祉課（保健師から）
内容：脳梗塞による言語障害者へのリハビリ相談を受け、「医療保険・介護保険の仕組み」「言語聴覚士が居ない場合のリハビリ対応」をアドバイスした。
- ・機関名：白井市役所福祉部高齢者福祉課（保健師から）
市民の集まりの場にて、個別の相談には保健師では対応できない為、相談に乗ってほしいと相談あり。出張や電話対応など協力する旨、回答した。
- ・機関名：四街道市役所福祉サービス部高齢者福祉課（理学療法士から）
多職種参加にて個別ケア会議を行っているが、療法士が集まりにくいと相談あり。地域のリハ・パートナー所属の療法士に参加要請を行うなど協力する旨、回答した。

④ 研修等の実施を通じた協働促進

- ・印旛圏域地域リハビリテーション研修会
日時：令和2年12月16日(水)
内容：「回復期における頭部外傷入門」
講師 小林士郎（成田リハビリテーション病院院長）
参加：70名（対象：医療・介護職）
- ・印旛圏域地域リハビリテーション研修会
日時：令和3年1月18日(月)
内容：「新型コロナ、インフルエンザの基礎知識と対策」
講師 松本哲哉氏（国際医療福祉大学医学部感染症対策講座主任教授、同成田病院感染制御部部長）
参加：250名（対象：医療・介護職）
- ・印旛圏域地域リハビリテーション研修会
日時：令和3年2月17日(水)
内容：「セラピストのための認知症入門」
講師 吉川百合子氏（成田赤十字病院神経内科部長）
参加：100名予定（対象：医療・介護職）

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧い
ずれかを
記入
↓

- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑥) 内容《出前講座（成田市立川上小学校）》（地域内機関へのリハ知識技能提供）》

日時：令和2年12月11日(金)

内容：福祉教育の一環として、車椅子利用者を例にとり、障害のある人や高齢者との接し方・環境の在り方について理解する。

派遣者：PT3名、OT1名、千葉リハ1名、県1名

(⑥) 内容：ご家庭でできる健康体操資料配布

日時：令和3年1月6日(水)

内容：富里市の包括支援センターが実施している「ささえあい」に参加されている方々に対し、体操方法などを冊子を配布した。

※日時・テーマ・参加人数等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

※開催要領、チラシ、実施結果など、概要がわかるものを添付すること。

※他団体からの依頼等により、地域リハビリテーション広域支援センターとして実施しているが、本事業の委託料を充当していない活動については、事業名と依頼元を《》でくくって記載すること。例.《〇〇事業（△△市）》